



## 佛事の常識・非常識



Q:報恩講はなぜ勤めるのですか？ A:恩を知ることが人間としての出発点だからです。

今回の寺報でもご案内しておりますように、報恩講を勤める時期になりました。一年に一度親鸞聖人の命日(11/28)を縁にして、ご先祖を引き受け、私たちを支え続けて下さっている仏様に感謝する法要を営みます。ところが私たちは、仏様に支えられている実感がないので、なぜそんなことしないといけないのか分からないのです。たとえて言うと、仏様とは空気のようにどんな人も生かす働きをしています。どんな人も呼吸して生きていますが、呼吸の度に空気に感謝する人はいません。しかし一瞬たりともお世話にならずしては生きて試しがたいのです。空気のような仏様に陰ながら支えられているのを知ることが、実は人間としての出発点なのです。この単純明快な事実を忘れ去り、当然自明のことにしてしまうのを「恩知らず」と言います。日馬富士が横綱に昇格した時に言った言葉は「強い身体に生んでくれた父母に感謝します」でした。手柄を一人占めせず、周囲に返す姿こそ真の人です。

**寺ともさんごぼれ話** 今回は寺ともさんの御縁で広がる輪について紹介しましょう。昨年5月の「新鮮らくご」

に来て下さったアマチュア落語家の皆さんに誘われて、私もまたんいろんな場所で落語を演じさせて頂いております。たとえば老人施設や障害のある方々の施設への慰問やコミュニティーセンターでの地域の人達への余興に呼ばれたり様々です。春先には長寿大学の開講式に招かれました。そしたら先日あるご法事で、「おじゅっさん、長寿大学で落語しよったな」と声を掛けて頂きました。嬉しいやら恥ずかしいやら。高松は狭いと言えばそれまでですが、あなたの町にもお邪魔するかも知れませんよ。また今月の寺ともさんインタビューも毎回とても楽しみです。毎月次は誰にお願いしようかなーから始まります。どなたか引き受けて下さるとかわら版の8割が完成したも同然です。今後お願いされた方は、どうぞ快くお引き受け下さいませようお願いします。今月の寺ともさんの久保さんが「住職もいろんな友達ができるでしょ」とおっしゃっていましたが、今後も友達の輪が広がるのを楽しみにしています。

名前：<sup>チー</sup>Qスケ  
性別：♂  
お年：9歳ぐらい  
種類：ミックス  
好物：クリーム・グラタン  
苦手：刺身・生魚  
住所：佐藤さん宅(高松市)  
性格：おとっちゃん

### ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集しています。

エピソード：佐藤さんちのQスケくんはとってもおとっちゃん。ノラ猫が近寄ると、すぐ逃げちゃいます。動物病院でも大変おとなしく。文字通り「借りてきたネコ」です。そのかわり看護師さんや獣医さんには、良いネコとしてお褒めに預かっています。鳴き声が、ニャーとかキューとかフニャフニャいうので、Qスケと名付けられたそうです。ケンカは弱いですが、平和と安楽をこよなく愛するQスケくん。グラタンなどの洋風の食べ物大好物で元気一杯です。

### NHK 高松放送局ゆう6かがわ・とれとれマイビデオ



9/12 夕方6時43分放送↑

第68回寺ともサービスディ「夏休み宿題サポート」が、NHK高松のローカルニュース「とれとれマイビデオ」のコーナーに取り上げられました。工作で作った木製イスに、後日赤いペンキを塗って仕上げた小学生もいました。世界に一つだけの素敵な作品でした。

### おまけ

11月恒例のそば打ち会。  
「毎年楽しみにしています」と言っておられるリピーターの寺ともさんが「今年も元気な写を見せられました。とっても嬉しいですわ。また遊びに来てくださいね。」

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが  
087-821-6348へご連絡を。